

## 2016（平成28）年度事業計画

日本鑄造工学会は、本年5月に第72回世界鑄造会議（WFC2016）を、名古屋で開催する。この会議は隔年開催で、日本での開催は1990年の大阪以来第3回目になる。これを機に、定款第3条（目的）「鑄造工学に係る学術及び技術の振興を図り、日本及び世界のものづくり基盤産業の発展に寄与し、社会の豊かな生活を実現することを目的とする」に合致した公益事業を、これまで以上に活発に展開するべく、さらなる飛躍を目指して策定した第2期長期ビジョンの具現化に向け、一昨年来開始した様々な新しい活動を積極的に展開する。

公益事業としては、公1：鑄造工学に関する学術講演会、講習会等の開催事業、公2：鑄造工学に関する調査研究及び相談事業、公3：鑄造工学に関する表彰及び奨励事業、公4：鑄造工学に関する広報誌等発行による普及啓発事業、そのほか、他1：会員に頒布する図書発行事業、他2：鑄造工学に関する相談事業（これは2015年度に認定された新たな事業）の6つの区分にしたがって従来以上の活動を計画推進する。

活動にあたり学会運営上の経済的課題も多く、ここ数年続けてきた経費削減活動を、今いっそう強化し、今まで以上に無駄を省く活動を展開する。

今年度において実施を計画している事業は以下のとおりである。

### 1. 学術講演会、講習会等の開催事業（公1）

国内の鑄造業界においては、さまざまな課題が山積している。伝統的な鑄造技術を受け継ぎ、さらにそれらを後世まで残していけるような息の長い人材の育成、さらに海外との競争力強化、経営基盤の強化、環境対策、さらに鑄造産業自体を広く国民に理解していただく努力も必要である。今後は一つの企業だけでなく、業界全体でこれらの課題に取り組み、日本全体の利益に寄与していくことが重要となっていく。

活動としては、春に第72回世界鑄造会議（WFC2016）をメインテーマ「鑄造品の高品質化」と称して名古屋で開催、秋は従来の全国講演大会を高知で開催し、今まで未発表の研究成果を発表し、討論を行う。同時に技術講習会、シンポジウム、若手鑄造技術者を中心とするYFE大会、さらに現場技術者の「現場目線での発表会場」を追加し、現場技術改善事例やQCサークル活動報告などを行う計画である。学生の鑄造離れに対応するため、大会開催時に鑄物の魅力を知ってもらうためのPRの場、また鑄造関連工場の見学会、鑄造関連商品やその技術に関する展示会などの諸行事も同時に開催し、一般市民を含め鑄造の普及活動も進める。WFC2016においては、特別講演や招待講演として、フランス、中国、韓国などの鑄造工学会との交流講演や国内要人の講演を計画している。これから将来を担っていただく方々を対象に、鑄物や鑄造技術を身近に感じることができる「こども鑄物教室」、「いもの体験教室」や工場見学会により、鑄造産業自体を広く国民に理解していただく機会を設け、鑄造工学や鑄物製品に初めて触れ、それを端緒にして、鑄造技術を受け継いでいく人材の育成を図ることに寄与する。また、高校生を対象にした「理系学生応援プロジェクト」を、北海道のみならず、全国的に拡大して開催する予定である。昨年度から新たに開催した「鑄造業向け材料力学入門講座」を全国的に展開、及び移設可能な小型キュボラを開発し、日本各地でキュボラを利用したイベントを開催することで、鑄鉄溶解を知ってもらうと同時に技術の伝承を行う。これらに加え、地域に密着し時宜を得たテーマを選び、講演会、講習会を実施していく。その他、関連団体との共催による講演会、講習会、研修会の開催を行う。

#### (1) 講演大会

##### ① 第72回世界鑄造会議（WFC2016）

開催日 2016（平成28）年5月21日（土）～5月25日（水）

- 場所 ポートメッセなごや (名古屋市港区金城ふ頭)
- 行事 a. 研究発表講演会 (口頭発表, ポスターセッション)  
 b. 特別講演 3件  
 c. 招待講演 4件  
 フランス, 中国, 韓国, 日本  
 d. 基調講演 15件  
 e. Young Researcher's Session  
 f. 展示会 (テーマコーナー, 一般展示コーナー, PRコーナー, 学会コーナー)  
 g. 工場見学会 10コース 440名  
 h. 懇親交流会 (ウエルカムパーティ, 公式晩餐会, ファントリムズナイト)  
 j.

②第168回全国講演大会 (一般社団法人日本鑄造協会との合同開催)

- 開催日 2016 (平成28)年9月23日~9月26日
- 場所 高知市文化プラザ「かるぽーと」(高知県高知市九反田2-1)
- 行事 a. 研究発表講演会  
 b. オーガナイズドセッション「軽合金」「鑄鉄溶解」他  
 c. 特別講演  
 d. 鑄造コンテスト  
 e. 工場見学会  
 f. 懇親交流会  
 g. 技術展示会

③講演会

- a. 論文賞受賞記念講演を秋季全国大会時に開催する。  
 b. 日下賞受賞記念講演を秋季全国大会時に開催する。  
 c. 技術賞, 豊田賞受賞記念講演を秋季全国大会時に開催する。  
 d. 日仏中韓交流講演をWFC2016で開催する。  
 e. 北海道支部講演大会 (4月22日 札幌市)  
 f. 東北支部 支部大会 (4月12日~13日 山形市)  
 g. 関東支部 加山記念講演会1回 (4月26日), 支部講演会2回  
 h. 北陸支部 講演会 4月21日 (一社)日本鑄造協会北陸支部との共催 (石川県)  
 i. 東海支部 特別講演会 3回 (4月 名古屋市, 7月 名古屋市, 2017. 4月名古屋市)  
 j. 東海支部 若手討論会 2回 (6月 岐阜, 9月 愛知)  
 k. 東海支部 技術講演会 3回 (9月 岐阜, 10月 長野, 2月浜松)  
 l. 東海支部 現場技術発表会 (岐阜9月, 長野10月, 浜松2月)  
 m. 関西支部 講演大会 2回 (春・秋)  
 n. 中国・四国支部 鑄造技術講演会 (4月21日)  
 o. 九州支部 第69回講演大会 (4月7日)

(2) 技術講習会

- ①「リカレントエンジニアリング (高強度化, 溶湯・凝固特性, フラクトグラフィ)」  
 2016年9月23日 (高知市文化プラザ)
- ②「(テーマ未定)」8月開催予定 (本部 企画委員会主催)
- ③ 学生鑄物コンテスト開催 (本部 企画委員会主催)
- ④「鑄造業向け材料力学入門講座」開催 (本部 企画委員会・関西支部共催: 8月)
- ⑤ キュボラキャラバン (本部 企画委員会主催: 12月 関西エリア予定)
- ⑥ 支部技術講習会 (2016年11月中旬 石川県)

- ⑦ 第16回夏期・鋳造技術講座（東北支部 8月上旬 盛岡市）
  - ⑧ 鋳鉄基礎講座（基礎講座・力学の初歩）（東海支部 6月 刈谷市）
  - ⑨ 非鉄専門講座（アルミニウム鋳物・力学の初歩）（東海支部 8月 刈谷市）
  - ⑩ 鋳鉄中級講座（中級講座・力学の初歩）（東海支部 9月 刈谷市）
  - ⑪ 非鉄専門講座（アルミダイカスト・力学の初歩）（東海支部 11月 刈谷市）
  - ⑫ 鋳造体験セミナー（座学・実習・工場見学）（東海支部 調整中）
  - ⑬ 講習会（鋳造セミナー）（関西支部:本部と共催 1回:8月末開催予定）
  - ⑭ 鋳造初級講座の実施（九州支部）
- (3) シンポジウム
- ① 研究部会の成果を報告するシンポジウムを3回開催する。
- (4) YFE 活動
- ① YFE こども鋳物教室（WFC2016 世界鋳造会議開催時 5月名古屋市）
  - ② 東北支部こども鋳物教室（東北大学と共催）を開催（7月, 10月 東北大学）
  - ③ 東北支部第24回 YFE 大会（11月 青森県予定）
  - ④ 東北支部ものづくりプロジェクト（9月 秋田県産業技術センター）
  - ⑤ 関東支部 工場見学会（勉強会共催）及び鋳物体験教室（こども鋳物教室）を開催。
  - ⑥ 北陸支部 YFE こども鋳物教室（8月予定, 福井県の予定）
  - ⑦ 東海支部 YFE 懇話会（4回/年）
  - ⑧ 関西支部 YFE 研修会 2回（12月, 3月）
  - ⑨ 関西支部工場見学会（大学生, 大学院生）, 工場見学会・鋳物教室（高校生対象）
  - ⑩ 九州支部 YFE 勉強会
  - ⑪ 理系学生応援プロジェクトの開催
- (5) 工場見学会
- ① 工場見学会（勉強会共催 関東支部）
  - ② 工場見学会（北陸支部 鋳造協会北陸支部と共催 未定）
  - ③ 工場見学会（東海支部 9月 岐阜, 2017年2月浜松）
  - ④ YFEによる大学生・大学院生, 高校生の会社見学会（関西支部 未定）
- (6) こども鋳物教室
- 「鋳物の日」共通企画実施（本部 YFE 委員会）
- ① こども鋳物教室（東北大学と共催）を開催（7月, 10月 東北大学）
  - ② 鋳物体験教室（こども鋳物教室）の開催（関東支部）
  - ③ こども鋳物教室（北陸支部 8月福井県）
- (7) 海外交流講演会
- ① 日韓 YFE ワークショップ開催（8月25日～27日 於 韓国）
- (8) 鋳造カレッジの開催（一般社団法人日本鋳造協会に協力）（関東, 東海, 北陸, 中国四国の4地区で開催 6月開講）
- (9) 鋳造カレッジ上級コースの開催 7月開講（一般社団法人日本鋳造協会に協力）
- (10) （一財）素形材センターとの共催による研修講座, 技術セミナーの開催

## 2. 鋳造工学に関する調査研究及び相談事業（公2）

鋳造工学に関する各技術分野の専門家による, 鋳造工学に関する研究, 調査, 技術交流事業を行う。下記の研究部会の研究成果, それに基づく研究報告書に関するシンポジウム等を開催

し、その研究成果を公開する。調査研究の結果を実際の実務、業務に生かすため、鑄造に関する工場見学会を行うなど、現場での技術交流を深める。研究活動の成果は研究報告書として発行し、その有効活用に努める。広く鑄造工学に関する情報や資料の収集を行い、その技術的な研究を発表することで日本の経済、ものづくりの発展に寄与する。

- (1) 研究部会活動の推進と研究報告書、レビュー記事などの発表を行う。(3回)
- (2) シンポジウムの開催による研究部会成果の公開を行う。(3回)
- (3) 全国講演大会時にオーガナイズドセッションを開催し、部会活動の成果を報告する。(秋季大会時)
- (4) 技術研究会(2つのテーマ)を適宜開催する。(北海道支部)
- (5) 企画技術委員会を適宜開催する。(北海道支部)
- (6) 鑄造技術部会(第93回7月下旬 岩手県, 第94回2月中旬 山形県, 東北支部)
- (7) 現場鑄造技術研究会(企画委員会1回, 研究会3回 関東支部)
- (8) 研究発表会(YFE, 鑄造協会北陸支部と共催 2017年2月 富山県 北陸支部)
- (9) 研究部会(鑄鉄鑄物, 非鉄鑄物, 先端プロセス)を各4回/年開催(東海支部)
- (10) 関西鑄造懇話会(関西支部3回)
- (11) 消失模型研究会(関西支部4回)
- (12) YFE 鑄造技術研究会(中国・四国支部 鑄造技術研究会1回, YFE「いいもの」研究部会2~3回)
- (13) 九州鑄物研究会(九州支部3回)

鑄造工学に関する相談事業として「鑄造工学に関する技術相談」を行う。具体的には下記の内容である。

鑄造工学に関する技術的な相談をしたいと考える一般市民の方々から、相談を受け、学会内の技術力を有する相談員がこれに応じ、広く一般市民の鑄造工学に関する技術的な問題解決に寄与し、鑄造工学の向上、ひいては日本の製造業の発展に寄与するものとして新たに事業として追加した。

### 3. 表彰及び奨励事業(公3)

将来の鑄造産業及び日本の製造業の発展のため、優れた業績を挙げた会員や一般市民には日本鑄造工学会大賞をはじめ11種類の表彰を行う。2012年度から開始した、優れた鑄物の製造や開発に対するキャストィングスオブザイヤー賞をさらに充実させる。その他、学術講演会では研究成果を発表した学生の優秀講演に対する表彰の実施、鑄造関連企業に就職した大学等の卒業生には奨励賞制度を設けている。また、寄附金をもとに設定した基金から、若手研究者の研究奨励、海外等での発表に対する活動支援、新東工業鑄造技術研究奨励制度で、研究や活動を支援する。

地域に密着した表彰及び奨励制度により、支部において選考された方々の表彰、奨励を行う。

#### (1) 表彰

##### a. 本部関係

日本鑄造工学会大賞(2件)、優秀論文賞(1件)、論文賞(2件)、クボタ賞(1件)、飯高賞(1件)、功労賞(7件)、技術賞(4件)、網谷賞(5件)、豊田賞(3件)、日下賞(3件)、キャストィングスオブザイヤー賞(2件)の授与

##### b. 支部関係

- ① 北海道支部関係 長岡金吾賞, 支部功労賞, 支部奨励賞の授与
- ② 東北支部関係 大平賞, 金子賞, 井川賞, 堀江賞の授与
- ③ 関東支部関係 特別功労賞, 功績賞, 現場技術改善賞の授与

- ④ 東海支部関係 支部賞, 奨励賞, 堤記念賞, 功労賞, 特別功労賞  
功績賞, 技術賞, 感謝状の授与
- ⑤ 関西支部関係 石野賞, 功労賞, 技術功労賞, 研究奨励賞の授与
- ⑥ 中国・四国支部関係 片島賞, 功労賞, 支部奨励賞の授与
- ⑦ 九州支部関係 技能功労賞, 技術奨励賞の授与

(2) 奨励助成

- a. 本部 特別若手研究奨励 (1名), 若手研究奨励 (5名), 若手活動支援 (1名), 新東工業鑄造技術研究奨励 (1名)
- b. 支部 東海支部 研究助成, 研究部会助成の実施  
 関西支部 研究奨励, 研究助成, 奨学の実施  
 九州支部 奨励の実施

#### 4. 鑄造工学に関する広報誌等発行による普及啓発事業 (公4)

学会誌「鑄造工学」を引き続き毎月発刊する。最新の研究論文, 技術論文をはじめ技術報告, 解説, 連載講座, 現場技術改善事例, レビューの他, 鑄造業界の要人のインタビュー記事やQ&Aコーナーに加え, 昨年度から開始した「海外生活体験レポート」及び「鑄造要素技術」を継続する。特集は3回組み, 研究者, 技術者及び経営者のいずれの方々にも役立つ情報を掲載する。英文誌「Materials Transactions」の8学協会との共同発刊に協力するとともに, 本学会会員の投稿を積極的に推進する。

会誌のJ-STAGE登載は, 第83巻(2011年)まで完了し, 今年度は第84巻を登載する。また, 支部においては地域の会員等との魅力ある活動の一環で, 地域毎特徴のある支部会報の発行を進め, 普及を図る。

- (1) 学会誌「鑄造工学」の定期発刊  
 会誌「鑄造工学」第88巻第4号より第89巻3号までの12冊を発行する。  
 特集号を5月, 8月, 12月に発行する,
- (2) 第72回世界鑄造会議 論文集を5月に発行する。
- (3) 全国講演大会講演概要集を9月に発行する。
- (4) 技術講習会テキストを9月に発行する。
- (5) シンポジウムテキストとして研究報告書を3回発行する予定である。
- (6) 研究報告書はNo. 120, No. 121, No. 122を発行予定である。
- (7) 支部会報発刊 (北海道支部 第144号 2016年4月末発行予定)
- (8) 支部会報発刊 (東北支部 第52号 平成29(2017)年3月中旬発行予定)
- (9) 関西支部報 (関西支部通信 第3号を発刊予定)
- (10) 中国四国支部会報「こしき」39号の発行 (9月)

#### 5. 会員等に頒布する図書発行业 (他1)

専門誌, 図書発行を行う。当事業では, 鑄造研究者, 鑄造技術者向けに鑄造工学に関する専門誌を発行し, 会員はじめ鑄造関連技術者相互の利益を図る。

主に鑄造分野の特定領域について深く掘り下げた専門性の高い内容を図書としているもので, 多くの数の発刊が望めないものであるが, この分野においては必要不可欠な, 将来に残すべき内容をまとめて発刊する。分野の先進の専門家が編集委員会を組織し, データの収集と編集を行う。

- (1) 75周年記念に発刊した「鑄造欠陥とその対策」の英語版をWFC2016開催時に発刊する。
- (2) 会誌「鑄造工学」に連載した「現場技術改善事例」を, 5月に書籍として発刊する。
- (3) 研究報告書, テキストなどの発行

(4)「鑄鉄溶解ハンドブック」改訂版の発刊準備作業の促進.

## 6. 鑄造工学に関する相談事業 (他2)

会員の相互扶助事業として、鑄造工学に関する下記の相談事業を行う。

- ① 鑄造工学に関する技術相談事業
- ② 鑄造工学に関する論文執筆相談事業
- ③ 現場技術改善事例執筆相談事業

鑄造に関する論文執筆作成に資するため、投稿までの論文執筆や現場技術改善事例に関し、まとめ方や執筆の仕方をアドバイスする「論文執筆アドバイザー」及び「現場改善事例執筆アドバイザー」制度により、投稿論文や現場技術改善事例を投稿できるようにする。

## 7. その他、本会の目的を達成するための事業

### (1) 国内関係

- ① 日本工学会など関連学会との協力
- ② (一社)日本鑄造協会、(一財)素形材センターと協力して各種研修会等を開催.
- ③ 関連する工業会、支部との連携を強化する.

### (2) 国際関係

- ① 本年5月、名古屋で開催する第72回世界鑄造会議(WFC2016)の開催準備
- ② 中国鑄造学会、韓国鑄造工学会との交流
- ③ 来日外国学識者との交流
- ④ 海外技術動向調査

## 8. 本会の法人管理・運営に関する事業

(1) 2016(平成28)年度 定時社員総会 ポートメッセなごや(2016年5月21日)  
その他、各支部において支部総会を開催(4月 北海道, 東北, 関東, 北陸, 東海, 関西, 中国・四国, 九州支部)

### (2) 理事会の開催

- a. 本部 7回開催
- b. 支部 各支部2~8回開催

### (3) 各種委員会の開催(本部関係)

- ① 企画委員会(2回開催)
  - a. 長期ビジョンで策定されたロードマップのフォローアップ.
  - b. 会員満足度向上のための諸企画について検討・立案を図る.
  - c. 会員増強に資するための非会員に対する学会知名度向上策についての検討・立案.
  - d. 鑄造関連団体との連携強化策についての検討・立案.
  - e. 大学生を対象に「鑄物コンテスト」を開催する.
  - f. 若手・中堅技術者を対象に鑄造技術に関する講習会を開催する.
- ② 編集委員会(本委員会12回, 合同編集委員会2回開催)
  - a. より一層の会員サービス向上を目指して、掲載記事の拡充及び充実を図る.
  - b. 英文誌「Materials Transactions」共同刊行の推進.
  - c. 査読電子化の促進.
- ③ 国際関係委員会
  - a. 日本・韓国・中国鑄造学会との交流を推進する.
  - b. 日韓YFEワークショップへの参加.(2016年8月21日~23日, 於 韓国)
- ④ 研究委員会(2回開催)
  - a. 研究報告書の編集・発刊を推進する.

- b. シンポジウムを開催する.
- c. 研究ロードマップに沿った活動の推進.
- d. 全国講演大会時にオーガナイズドセッションを開催する.
- ⑥ YFE 委員会 (2 回開催)
  - a. 「こども鋳物教室」, 「鋳物体験教室」を企画, 推進する.
  - b. 若手鋳造技術者, 研究者による研究発表や技術交流を図る.
  - c. YFE 講演大会を開催する.
  - d. 理系学生応援プロジェクトを全国各支部に拡大展開する.
- ⑦ 財務委員会 (2 回開催)
  - a. 財政強化のための施策を検討, 推進する.
  - b. 会計業務の監督, 指導を行い, 財政の健全運営を図る.
- ⑧ 人材育成委員会
  - a. (一社)日本鋳造協会との合同委員会により「鋳造カレッジ・中核人材育成事業」を支援・推進する. 鋳造カレッジ上級コース開催の支援を行う.
  - b. (一財)素形材センターの研修講座及び技術セミナーを共催する.
- ⑨ 広報委員会
  - a. 学会ホームページの充実を図る.
  - b. 学会誌「鋳造工学」全国講演大会概要集の J-STAGE 登載を進める.
  - c. 会員専用パスワードの設定を進める.
- (4) 委員会 (支部関係)
 

各支部で, 企画委員会, 広報委員会, 人材育成委員会, 研修講座運営委員会, YFE 委員会を計画的に開催し, 支部の状況に応じた各種取組みを計画立案, 実行に向けた方策を推進する.

## 2016(平成28)年度本部事業計画に関する事項

### 1. 総会に関する事項(定款第13条)

平成28(2016)年度定時社員総会は, 平成28(2016)年5月21日(土)15時00分より, 「ポートメッセなごや」にて開催予定.

### 2. 表彰・奨励に関する事項(定款第4条第4号)

1) 表彰 平成28(2016)年度は, 次の各賞を授与予定.

日本鋳造工学会大賞	2件	2名
論 文 賞	3件	18名
ク ボ タ 賞	1件	1名
飯 高 賞	1件	1名
功 労 賞	7件	7名
技 術 賞	4件	11名
網 谷 賞	5件	5グループ
豊 田 賞	3件	3グループ
日 下 賞	3件	3名

Castings of the Year賞 2件

2) 奨励・支援

- (1) 平成28(2016)年度の日本鋳造工学会新東工業鋳造技術研究奨励金を1名に授与する.
- (2) 平成28(2016)年度に鋳造業関連に就職する大学等の卒業予定者で、支部からの推薦に基づき「奨励賞」を授与する.
- (3) 平成28(2016)年度の「特別若手研究奨励金」を1名、「若手研究奨励金」を5名に授与する.
- (4) 平成28(2016)年度の「若手活動支援金」を1名に授与する.

3. 全国講演大会(定款第4条第1号)

1) 第168回全国講演大会及び諸行事に関する事項(一般社団法人日本鋳造協会と合同開催)

日時:平成28(2016)年9月23日(金),24日(土),25日(日),26日(月)

場所:高知市文化プラザ「かるぽーと」(高知県高知市九反田2-1)

行事:(1) 研究発表講演会

(2) 論文賞受賞記念講演

(3) 技術賞・豊田賞受賞記念講演

(4) オーガナイズドセッション 数件

「軽合金研究部会」

「鋳鉄研究部会」

「現場技術改善事例」等

(5) 特別講演

高知大学特任教授 岡村 眞氏 「津波堆積物からわかる南海地震の繰り返し」

返し」

(6) YFE(若手鋳造技術者・日下賞受賞者,新東工業鋳造技術研究奨励金受賞者記念講演を含む)大会

(7) 技術展示会(カタログ展示コーナー,PRタイム)

(8) 工場見学会

(9) 懇親交流会

(10) エクスカーション

2) 第72回世界鋳造会議(WFC2016)及び諸行事に関する事項

(世界鋳造技術機構 World Foundry Organizationの会議を日本鋳造工学会が主催する)

日時:平成28(2016)年5月21日(土)~25日(水)

場所:ポートメッセなごや(愛知県名古屋市港区金城ふ頭2-2)

行事:(1) 特別講演 3件

- (2) 招待講演 4件
- (3) 技術講演(口頭発表, ポスターセッション)
- (4) 技術展示会
- (5) こども鋳物教室
  - (6) 各種歓迎会(ウエルカムパーティ, オフィシャルバンケット, ファンドリーズメンズナイト)
- (7) 工場見学会(10コース設定)
- (8) 市内観光・ポストツア

4. 技術講習会に関する事項(定款第4条第1号)

- 1) 「リカレントエンジニアリング(高強度化, 溶湯・凝固特性, フラクトグラフィ)」
  - 日時:平成28(2016)年9月23日(金) 10:00~17:00
  - 場所:高知市文化プラザ「かるぼーと」(高知県高知市九反田2-1)
- 2)「(テーマ未定)」 8月開催予定 本部企画委員会・関西支部共催

5. シンポジウムに関する事項(定款第4条第1号)

研究部会の成果を報告するシンポジウムを3回開催する予定.

6. 技術賞・豊田賞受賞記念講演会に関する事項(定款第4条第1号)

受賞記念講演は秋季開催の全国講演大会時に行う.

7. YFE活動に関する事項(定款第4条第1号)

- 1) 第168回全国講演大会 YFE大会
  - 日時:平成28(2016)年9月25日(日)
  - 場所:高知市文化プラザ「かるぼーと」
    - ①新東工業若手研究助成特別講演 1件
    - ②日下賞受賞者講演 3件

8. 国際会議に関する事項(定款第4条第1号, 5号)

- 1)第72回世界鋳造会議(WFC2016)開催
  - 日時:2016年5月21日(土)~25日(水)
  - 場所:名古屋市「ポートメッセなごや」
- 2)第6回日韓YFEワークショップ(韓国で開催)に参加. 8月25日(木)~27日(土)

9. 出版に関する事項(定款第4条第4号)

- 1) 定期刊行物

会誌「鑄造工学」第88巻第4号より第89巻第3号まで12冊を発行予定，  
特集号を5月，8月，12月に発行する。

- 2) 第72回世界鑄造会議(WFC2016)のプロシーディングスを5月に発行する。
- 3) 全国講演大会講演概要集を9月に発行する。
- 4) 技術講習会テキスト
  - (1) 「(題目未定)」技術講習会テキストを8月に発行予定。
  - (2) 「(題目未定)」技術講習会テキストを9月に発行予定。
- 5) シンポジウムテキスト  
シンポジウムのテキストを，3件発行予定。
- 6) 研究報告書  
No.120より順次発行予定。
- 7) 過去10年分の事例をまとめた「現場技術改善事例集」を5月に発刊する。
- 8) 「鑄鉄溶解ハンドブック」の改訂版発刊準備作業の促進。

#### 10. 各種委員会に関する事項(定款第5条-(6)項)

- 1) 企画委員会に関する事項
  - (1) 会員満足度向上に繋がる本会活動の活性化のための諸企画を立案・推進する。
  - (2) 会員増強に資するための非会員に対する学会知名度向上策についての検討・立案する。
  - (3) 鑄造関連団体との連携の強化。
  - (4) (一財)素形材センターとの共催で「鑄造技術研修講座」を開催する。
  - (5) 学生鑄物コンテストを開催する。
  - (6) 支部講習会等の活動行事を支援・推進する。
  - (7) 本部主催の講習会を開催する。
  - (8) キュポラキャラバン計画を推進・実行する。
- 2) 編集委員会に関する事項(本委員会12回，合同編集委員会 2回開催)
  - (1) より一層の会員サービス向上を目指して連載記事の拡充及び充実を図る。
  - (2) 英文誌“Materials Transactions”の共同刊行を推進する。
- 3) 国際関係委員会に関する事項
  - (1) 英文誌“Materials Transactions”の共同刊行へ協力する。また，本英文誌へ本会員の研究論文が掲載されるよう支援する。
  - (2) WFC2016世界鑄造会議開催を支援する。
  - (3) 日本・韓国・中国の鑄造工学会交流を推進する。
- 5) 研究委員会に関する事項
  - (1) 研究報告書を発行する。

- (2) シンポジウムを開催する.
- (3) 定期的な情報収集と研究ロードマップの見直しを行う.
- (4) 各部会活動の進捗をフォローする.
- (5) 全国講演大会でオーガナイズドセッションを開催する.
- 6) YFE委員会に関する事項
  - (1) 「こども鋳物教室」全国版の普及, 「鋳物体験教室」の企画推進を図る.
  - (2) 理系学生応援プロジェクトの全国展開に向けた活動を推進する.
  - (3) 鋳造若手技術者育成ネットワーク構築, 若手研究者による研究発表や技術交流の促進を図る.
  - (4) YFE講演大会を開催する.
- 7) 財務委員会に関する事項
  - (1) 財政強化のための施策を検討・推進する.
  - (2) 会計業務の監督・指導を行い、財政の健全運営化を図る.
  - (3) 前年度に引き続き, 更なる経費削減活動を推進する
- 8) 人材育成委員会に関する事項
  - (1) (一社)日本鋳造協会主催の「鋳造カレッジ上級コース」を支援する.
  - (2) (一財)素形材センターの研修講座, 技術セミナーの共催を推進.
- 9) 広報委員会に関する事項
  - (1) 講演概要集のJ-STAGE登載を開始する.
  - (2) WEB閲覧ための仕組みを作る.
  - (3) 学会ホームページの充実を図る.

## **2016(平成28)年度支部事業計画に関する事項**

### **1. 北海道支部**

- 1. 支部大会  
支部講演大会を2016年4月22日(金)北海道総合研究プラザ(札幌市)にて開催予定
- 2. 企画技術委員会  
適宜開催
- 3. 技術研究会  
鋳造技術研究会(長船主査), 非鉄鋳物の高度化技術研究会(柴田主査)を適宜開催.
- 4. 支部編集委員会  
支部会報第144号の発行 2016年4月末発行予定
- 5. 支部理事会
  - ・2016年4月22日に開催予定
  - ・2017年2月初旬に開催予定
- 6. 表彰  
長岡金吾賞, 支部功労賞, 支部奨励賞(学生対象)について, 支部大会時に表彰予定

## **2. 東北支部**

- (1) 理事会  
平成 28 年度定例理事会  
開催日：平成 29 年 3 月中旬予定  
開催場所：盛岡市
- (2) 支部大会・総会・支部表彰式  
第 45 回宮城大会  
開催日：平成 28 年 4 月 12 日（火）～13 日（水）  
開催場所：キャッスルホテル山形
- (3) 鑄造技術部会
  - 1) 第 93 回鑄造技術部会  
開催日：平成 28 年 7 月下旬予定  
開催場所：岩手県を予定
  - 2) 第 94 回鑄造技術部会  
開催日：平成 29 年 2 月中旬予定  
開催場所：山形県を予定
- (4) YFE 活動
  - 1) こども鑄物教室（東北大学と共催）  
開催日：平成 28 年 7 月，10 月  
開催場所：東北大学
  - 2) ものづくりプロジェクト  
開催日：平成 28 年 9 月  
開催場所：秋田県産業技術センター
  - 3) 第 16 回夏期鑄造技術講座（東北支部と共催）
  - 4) 東北支部第 24 回 YFE 大会  
開催日：平成 28 年 11 月上旬予定  
開催場所：青森県を予定
- (5) 第 16 回夏期・鑄造技術講座  
開催日：平成 28 年 8 月上旬予定  
開催場所：岩手大学ものづくり研究棟
- (6) 支部会報  
第 52 号は、平成 29 年 3 月中旬発行予定

## **3. 関東支部**

1. 理事会  
理事会を 5 回開催する。
2. 総会  
平成 28 年度通常総会を、平成 28 年 4 月 26 日（火）に日立金属高輪和彊館において開催する。
3. 加山記念講演会  
平成 28 年 4 月 26 日（火）に日立金属高輪和彊館において第 28 回加山記念講演会を開催する。  
講演題目：「精密鑄造業界の実情と技術開発状況について」  
講師：株式会社ブライソン・ジャパン 大塚公輝氏

4. 研究委員会  
支部講演会を2回, 加山記念講演会を1回開催する.
5. 現場鑄造技術研究会  
企画委員会を1回, 研究会を3回開催する.
6. YFE 企画委員会  
工場見学会(勉強会共催)および鑄物体験教室(子供いもの教室)を開催する。 第169回全国講演大会に向けてYFE 大会ならびに子供いもの教室の開催を企画・準備する.
7. 広報委員会  
これまでのコンテンツを中心に毎月記事を集めて更新する。  
会誌「鑄造工学」の現場技術改善事例の執筆依頼候補12社を選定し本部編集委員会へ推薦するとともに, 各企業に執筆を依頼する。  
平成27年度支部活動をまとめてNo.34「支部便り」を編集してHPへ掲載する。  
会誌「鑄造工学」の〈支部だより〉の執筆:平成27年度の活動状況を「関東支部活動報告」として掲載する(Vol.88(2016)5月号)。  
平成28年度の活動状況について, 平成29年3月頃に投稿する.
8. 人材育成委員会  
委員会を3回開催する。  
日本鑄造協会主催の関東地区の鑄造カレッジ及び鑄造入門講座開催を支援する.
9. 企画・運営委員会  
委員会を3回開催する。  
(1) 関東支部の運営及び体制検討  
(2) 第169回全国講演大会での行事企画  
(3) 理系学生応援プロジェクトの推進
10. 第169回全国講演大会  
平成29年5月22日～5月25日に東京都市大学にて開催予定の全国講演大会の開催準備を行う。

#### **4. 北陸支部**

1. 支部総会(YFEと共催)  
総会を1回(2016年4月改選された代議員により支部理事を選任する。また, 前年度の決算報告, 当該年度の予算と計画している行事の説明をするとともに, 出席者から意見を募り, 支部運営の全般について議論し, 意見集約する.
2. 理事会(YFEと共催)  
支部総会終了後のできるだけ早い時期に理事会を開催し, 支部長などの役職者を互選する。  
支部運営全般に関する議論と方針の決定のために, 4回開催する.
3. 企画委員会(YFEと共催)  
支部講演会, 支部技術講習会, 支部工場見学会, 支部研究発表会などの支部主催行事の具体的内容を企画するために, 3回開催する.
4. (一社)日本鑄造協会北陸支部との共催事業(支部講演会)  
開催日 : 2016年4月21日の予定  
開催地 : ホテル日航金沢(石川県)の予定  
内容 : 講演会と懇親会を共催する。北陸地区の企業または公的機関, 北陸地区外の講師に鑄造業界のトレンド, 最新研究動向, 経済状況予測など

をご講演いただき、北陸地区内の活性化の一助にする。さらに、会員相互の情報交換の場を提供する。

5. 支部技術講習会（YFE及び（一社）日本鑄造協会北陸支部と共催）
  - 開催日 : 2016年11月中旬の予定
  - 開催地 : 石川県
  - 内容 : 企画委員会でテーマを検討し、それに即した講師（2名程度）を招聘する。
6. 支部工場見学会（YFE及び（一社）日本鑄造協会北陸支部と共催）
  - 1回開催する。開催日及び見学先は、未定である。
7. 支部研究発表会（YFE及び（一社）日本鑄造協会北陸支部と共催）
  - 開催日 : 2017年2月の予定
  - 開催地 : 富山県
  - 内容 : 企画委員会でテーマを検討し、それに即した研究を行っている支部会員あるいは支部外の講師に発表していただき、支部内の研究活動の活性化を図る。
8. YFE こども鑄物教室
  - 開催日 : 2016年8月の予定
  - 開催地 : 福井県の予定
  - 内容 : (財)福井県産業会館が主催する「おもしろフェスタ in サンドーム福井」にて出展し、鑄造技術を使った日用品作製を体験してもらい、鑄造とその関連技術の理解促進に努める。

## 5. 東海支部

平成28年度（公社）日本鑄造工学会東海支部役員会実施計画（案）

日 時	会 場	会議名称	H28年度の議事
H28.4.8 〈金〉	キャッスルプラザ 愛知県産業労働センター 1001 大会議室	顧問理事会 平成28年度総会	1. 平成27年度事業報告及び決算報告 2. 平成27年度支部表彰受賞者について 3. 平成28,29年度支部役員体制について 4. 平成28年度事業計画(案)及び予算(案) 5. WFC2016について
H28.6.3 〈金〉	愛知県産業労働センター 906 会議室	企画委員会	1. 平成28,29年支部役員について 2. 平成28年度支部行事計画について 3. 暑中見舞い広告掲載依頼について 4. 「現場改善事例」執筆先推薦依頼について
H28.6.17 〈金〉	愛知県産業労働センター 907 会議室	理事会	1. 平成28,29年度支部役員について 2. 平成28年度支部行事計画について 3. 本部理事会報告 4. 会誌掲載用「現場改善事例」について
H28.10.7 〈金〉	愛知県産業労働センター 905 会議室	表彰選考委員 会	1. 平成29年度本部表彰（6賞）候補者につ いて 2. 永井科学技術財団賞 技術賞候補につい

て

H28. 10. 2	愛知県産業労働センター (金) 905 会議室	企画担当理事会	1. 平成 28 年度支部事業の進捗報告 2. 平成 29 年度支部事業について
H28. 10. 23	愛知県産業労働センター (金) 906 会議室	理事会	1. 平成 29 年度本部表彰 (6 賞) 推薦候補につ て 2. 平成 28 年度支部事業の進捗報告 3. 平成 29 年度支部事業について 4. 本部理事会報告
H29. 1. 13	愛知県産業労働センター (金) 905 会議室	研究部会委員会	1. 平成 28 年度各研究部会・懇話会進捗報告 2. 研究部会の運営について
H29. 1. 13	愛知県産業労働センター (金) 905 会議室	表彰選考委員会	1. 平成 28 年度支部表彰選考について 2. その他
H29. 2. 17	愛知県産業労働センター (金) 905 会議室	企画担当理事会	1. 平成 28 年度支部事業の進捗状況について 2. 平成 29 年度支部事業について 3. 平成 29 年度総会日程について
H29. 3	愛知県産業労働センター (金) 場所未定	理事会	1. 平成 28 年度支部行事・会計報告につい て 2. 平成 28 年度支部表彰について 3. 平成 29 年度支部行事計画・予算案につい て 4. 平成 29 年度支部役員について 5. 本部理事会報告 6. 平成 29 年度総会・特別講演会について 7. 事務局移転について 8. その他
H29. 4	キャッスルプラザ (金) 場所未定	顧問理事会 平成 29 年度総会	1. 平成 28 年度事業報告及び決算報告 2. 平成 28 年度支部表彰受賞者について 3. 平成 29 年度支部役員及び役員体制につ いて 4. 平成 29 年度事業計画(案)及び予算 (案) 5. WF C2016 について

平成 28 年度 (公社) 日本鑄造工学会東海支部行事計画 (案)

開催年月	地 区	行 事	内 容
H28. 4	名古屋	総 会	1, 支 部 総 会 2, 支 部 表 彰 式
		特別講演会	1. 特 別 講 演 会

H28.6	岐阜	若手討論会	1. 若手技術者討論会
H28.6	刈谷市	鑄鉄基礎講座	1. 基礎講座 2. 力学の基礎
H28.7	名古屋	特別講演会	1. 特別講演会 2. 会員交流会
H28.8	刈谷市	非鉄専門講座	1. アルミニウム鑄物 2. 力学の基礎
H28.9	刈谷市	鑄鉄中級講座	1. 中級講座 2. 力学の基礎
H28.9	愛知	若手討論会	1. 若手技術者討論会
H28.9?	岐阜	技術講演会	1. 技術講演 2. 研究部会報告 3. 現場技術発表
H28.10	岐阜 長野	工場見学 技術講演会	4. 工場見学 1. 技術講演 2. 研究部会報告 3. 現場技術発表
H28.11	刈谷市	非鉄専門講座	1. アルミニウムダイカスト 2. 力学の初歩
H28.11	調整中	鑄造体験セミナー	1. 座学 2. 実習 3. 工場見学
H29.2	浜松	技術講演会	1. 技術講演 2. 研究部会報告 3. 現場技術発表 4. 工場見学
H29.4	浜松 名古屋	工場見学 総会 特別講演会	1. 支部総会 2. 支部表彰式 1. 特別講演会

研究部会、YFE 懇話会 各4回/年 活動予定

○鑄鉄鑄物研究部会

○非鉄鑄物研究部会

○先端プロセス研究部会

○YFE懇話会

## 6. 関西支部

### 期間活動スローガン

会員及び賛助会員の行事参加への推進

### 重要課題

若手鑄造技術者の育成

産学連携の強化

### 平成28年度 活動計画

(1) 通常会合

支部運営のために下記役員会および委員会を開催する。

顧問会(1回)、理事会(5回)、運営連絡会(適宜)、企画・資金・総務各担当理事会(適宜)、研究運営委員会(1回)

(2) 支部総会、代議員会および講演大会

年2回(春・秋)講演大会を開催し、支部会員の研究発表、研究奨励助成金研究の成果報告、各研究会活動状況の報告、および特別講演を行う。

尚、春季支部大会には代議員会・総会を開催するとともに、支部功労賞、支部技術功労賞、研究奨励賞、石野賞の表彰式および研究奨励助成金の授与を行う。

(3) 支部研究会

平成23年度の研究会組織改革により発足した関西鋳造懇話会を(3回)開催する。消失模型研究会は今後も支部の研究会としての特徴を出しながら(4回)開催する。各研究会は別項に示す計画に基づき活動する。

○関西鋳造懇話会 委員長 丸山 徹氏

イ. 研究会開催回数 3回

ロ. 研究テーマ

鋳造工学に関連する基礎的な技術議論のみならず先端的な研究開発についても理解を深めるとともに研究のディスカッションに重きをおいた特定研究会を設けて、研究の活性化に取り組む。また、支部会員相互の交流のため名刺交換交流会を開催する。なお、委員長団、幹事団で企画運営した方式を平成28年度も踏襲する。

○消失模型鋳造法 研究会委員長 池永 明氏

イ. 研究会開催回数 4回

(4) 講習会(鋳造セミナー) (1回)

鋳造技術に関する最近の問題点や技術の動向を取り上げ、数名の講師による講演と討論を企画。本年度も本部との共催行事として8月末に開催予定。

(5) 広報委員会

昨年度から支部ホームページの更新頻度を上げて、支部及び本部行事の広報活動を行っている。今年度も引き続きタイムリーな情報提供を目指して、より充実した広報活動を行う。(平成24年11月13日、支部ホームページをリニューアル)

支部ホームページ・アドレス: <http://www.jfs-kansai.jp/>

日本鋳造工学会のホームページ・アドレス: <http://jfs.or.jp/>

(6) 関西支部通信

本年度も適宜支部通信編集委員会を開催して第3号発刊に向け、編集作業を行う。

(7) 研修講座運営委員会

平成28年度も(一財)素形材センターと共催で、「鋳鉄の基礎と応用」を5日間実施する。うち、1日は実習を行っており、支部が協力・支援することにより充実した内容、効果的な実習となるよう取り組んでいく。

(8) YFE委員会

①YFE研修会

イ. 関西支部YFEメンバーの自己研鑽活動の一環として、鋳造にとらわれない広い視野を持つため、鋳造でない「ものづくり現場」もしくは「鋳物を用いて製造される製品」の製作現場訪問を検討する。(日時:平成28年12月)

ロ. 関西鋳造技士会との共催で研修会の開催を検討する。(日時:平成29年3月)

②会社見学会(日時未定)

平成22年度から大学生・大学院生を対象に会社・工場の見学会を開催している。今年度も3~4コース程度を実施する。

③高校生対象の会社見学会・鋳物教室（日時未定）

高校生を対象に工場見学会を開催し、希望者を募って鋳物体験教室を開催する。

(9) 産学連携を強化

関連する工業会と支部との連携を強化。

(10) 会員増強活動

関西鋳造技士会（会長：尾鼻美規氏）が開催する会合に対して支援。平成 29 年 3 月に YFE と共催で講演会開催の予定。

(11) 支部運営体制の構築

平成 26 年度から一部業務を事務委託している。本年度はこれに合わせた事務局の体制作りと、次回支部担当全国大会（平成 30 年 5 月開催予定）の事務運営の具体的な対応策を検討する。

## **7. 中国四国支部**

- |                                      |       |                         |
|--------------------------------------|-------|-------------------------|
| (1) 支部総会・支部表彰                        | 1 回   | 4 月 21 日（於、広島市工業技術センター） |
| (2) 理事会                              | 1 回   | 4 月 21 日（於、広島市工業技術センター） |
| (3) 常任理事会                            | 4 回   | 4 月 14 日、7 月、9 月、1 月    |
| (4) 鋳造技術講演・講習会                       | 2 回   | 4 月 21 日                |
| (5) YFE 事業                           |       |                         |
| ・鋳造技術研究会                             | 1 回   | 7～9 月                   |
| ・いいもの研究部会                            | 2～3 回 | 7 月、3 月                 |
| (6) 第 168 回全国講演大会                    |       |                         |
| 開催日：平成 28 年 9 月 23 日(金)～26 日（月）      |       |                         |
| 開催地：高知市                              |       |                         |
| 計画　：23 日(金)：技術講習会                    |       |                         |
| 24 日(土)：研究発表会，企業展示，特別講演，懇親会，エクスカージョン |       |                         |
| 25 日(日)：研究発表会，企業展示，こども鋳物教室           |       |                         |
| 26 日(月)：工場見学                         |       |                         |
| (7) 支部会報「こしき」39 号の発行                 | 9 月   |                         |

## **8. 九州支部**

(1) 平成 28 年度支部総会，表彰式，第 69 回講演大会

1) 総会

日 時：平成 28 年 4 月 7 日(木)

場 所：北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野 3-9-30)

議 題：

- ① 平成 27 年度支部事業報告
- ② 平成 27 年度支部決算報告
- ③ 平成 28 年度支部事業報告(案)
- ④ 平成 28 年度支部予算(案)
- ⑤ 技能功労賞，技術奨励賞選出

2) 表彰式：技能功労賞並びに技術奨励賞表彰.

3) 第 69 回講演大会：研究発表，懇親会

(2) 支部理事会，代議委員会

1) 支部理事会：3 回開催する予定.

2)支部代議委員会

日 時:平成 28 年 4 月 7 日(木)

場 所:北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野 3-9-30)

(3)九州鋳物研究会

1) 研究会として3回開催する予定

(4)鋳造初級講座

1) 初級講座の実施

2) 今後の活動計画検討

(5)他学協会との連携

1) 溶射学会全国大会への参加(日時:11 月, 場所:北九州)

(6)支部 YFE 活動

1)YFE 幹事会

2)YFE 勉強会